

志賀原子力発電所 1、2号機 定期安全レビューの実施について

平成27年11月18日
北陸電力株式会社

当社は、志賀原子力発電所 1号機および2号機の定期安全レビューを実施しましたので、お知らせします。

定期安全レビューは、「[「実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則」](#)^{※1}に基づき、原子炉設置者が原子炉ごとに「原子炉施設における保安活動の実施状況」及び「原子炉施設における保安活動への最新の技術的知見の反映状況」等を定期的（10年を超えない期間ごと）に評価する活動です。

今回、当社は志賀原子力発電所 1号機および2号機の定期安全レビューを実施し、その結果、保安活動が継続的に改善され、安全性・信頼性の維持・向上が適切に図られていること等を確認しました。（別紙参照）

当社は、今回の評価結果を踏まえ、志賀原子力発電所の更なる安全性・信頼性の向上に取り組んでいくとともに、福島第一原子力発電所事故から得られた技術的知見等についても、適切に反映してまいります。

なお、定期安全レビュー報告書は、原子力情報コーナー^{※2}で公開しております。

以 上

※1 「核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律」に基づき、実用発電用原子炉の設置や運転等に関する規制を定めた規則。

※2 アリス館志賀、エネルギー科学館「ワンダー・ラボ」、石川支店及び福井支店に設置

志賀原子力発電所 1号機、2号機の定期安全レビュー報告書の概要

1. 評価対象期間

1号機：平成17年1月（前回評価対象期間以降）～平成26年3月

（参考）前回評価対象期間 平成5年7月～平成17年1月

2号機：平成18年3月（営業運転開始以降）～平成26年3月

2. 評価結果

（1） 保安活動の実施状況の評価

「保安活動の実施状況」の評価結果として「品質保証活動」、「運転管理」、「保守管理」、「燃料管理」、「放射線管理」、「放射性廃棄物管理」、「緊急時の措置」及び「安全文化の醸成活動」の各分野で改善活動が、継続的に行われ、保安活動の目的に沿って有効であり、保安活動に定着していると評価した。

また、実績指標（スクラム回数や定期検査期間中の被ばく線量等）の評価より、保安活動の取り組みを適切に行っており、改善活動が継続的かつ有効に機能していると評価した。

（2） 保安活動への最新の技術的知見の反映状況の評価

「保安活動への最新の技術的知見の反映状況」に係る評価結果として「安全研究成果」、「国内外の原子力発電所の運転経験から得られた教訓」、「技術開発成果」を適切に反映しており、原子炉施設の安全性を確保する上で重要な設備に対し、原子炉施設のより一層の安全性、信頼性の維持・向上が図られていると評価した。

（3） 確率論的リスク評価

「確率論的リスク評価」については、プラント運転時とプラント停止時の評価を行い、安全性を十分確保していることを確認した。

（確率論的リスク評価は任意で実施する項目となっており、2号機において実施）

3. 今後の対応

当社は、今回の定期安全レビューの結果を踏まえ、原子力安全の更なる向上を目指し、保安活動の自律的・継続的改善を更に推進するとともに、今後とも志賀原子力発電所の安全・安定運転に努め、運転経験や最新の技術的知見を踏まえた保安活動を積極的に実施していく。

以上